

大阪狭山市教育振興基本計画策定に係るアンケート調査の実施について

1 調査の目的

本調査は、平成 25 年度～26 年度に策定する「大阪狭山市教育振興基本計画」を策定するための基礎資料を得ること、そして 15 歳以上の市民の視点から、大阪狭山市における生涯学習のあり方や、学校教育を取り巻く現状の評価・課題を把握することを目的とする。

2 調査の対象及び客体

15 歳以上の市民を対象として、住民基本台帳を用いて抽出した 1,000 人を客体とする。

3 調査の事項

計画の策定にあたって、現在の市民の学校教育や生涯学習に対して、必要と感じていること、今後の各分野に求めることを把握する。

4 調査の期日

平成 25 年 11 月下旬から 12 月初旬にかけて発送する。（予定）

5 調査の方法

郵送により、あらかじめ抽出された対象者に調査票を配布し、回収を行う。

6 設問項目（案）

項目	問番号	設問項目	設問の意図
回答者の属性	問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7	性別 年齢 居住小学校区 職業 家族構成 配偶者の有無 子どもの有無と人数	回答者の基礎的な情報を得るとともにクロス集計により各属性別の傾向をつかむ。施策を検討する際のターゲットの絞り込み、必要度や重要度を判断するためにクロス集計を行っていく。
大阪狭山市の教育に関する取組みについて	問 8	大阪狭山市の教育に関する取組みについて、どのように感じるか	就学前教育・保育、学校教育が充実しているかどうか。また、生涯学習・文化・スポーツが充実しているかどうか、市民の目線から把握する。
就学前教育・保育や学校教育について	問 9 問 10 問 11 問 12	子どもたちに、どのような子どもになってほしいか 就学前教育・保育の充実に必要な取組み 学校教育の充実に必要な取組み 小規模な学校や園が増える傾向についての考え	理想とする、さやまっ子像を把握するとともに、就学前教育・保育や学校教育に必要とされる取組みを把握する。また、少子化が進んだ際の、学校や園の対応について、市民の考えを把握する。
家庭教育・地域教育について	問 13 問 14 問 15 問 16	家庭教育力を高めるため必要な取組み 地域の教育力を高めるため必要な取組み 普通の地域の子どもの接し方 地域の学校に対する協力意向	家庭や地域の役割を明確にするとともに、家庭や地域の教育力向上に向けた支援方策について検討するとともに、市民との協働の視点で行えることを把握する。
生涯学習について	問 17 問 17-(1) 問 17-(2) 問 17-(3) 問 18 問 18-(1) 問 19	自主的な学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動等の有無 生涯学習活動をはじめたきっかけ どのような生涯学習活動をしたか 生涯学習活動を行っていない理由 今後の生涯学習活動の意向 具体的にどのような活動をしたいか 生涯学習を通じてなりたい人間像	生涯学習活動の実態を把握するとともに、人気が高い活動分野、必要な活動分野を把握し、今後の生涯学習活動への参加促進の可能性について検討する際の基礎資料とする。
文化・スポーツ活動について	問 20 問 21	文化・芸術活動の充実に必要な取組み スポーツ活動の充実に必要な取組み	
大阪狭山市や市の将来について	問 22 問 23	大阪狭山市を「ふるさと」と感じるか 今後も大事にしていきたいと思うこと	教育振興基本計画において、市民が抱く大阪狭山市が目指していくべき教育のキーワードを把握する
教育に関する施策全般について	問 24 問 25	子どもが健やかに育まれるため、市が力を入れるべきこと 学びたい時に学べるようにするため、市が力を入れるべきこと	市がどのようなことに力を入れれば良いか。市民の思いを把握する。
自由記述	問 26 問 27	大阪狭山市の教育についてのイメージ その他の意見	大阪狭山市の教育についてのイメージ及び、前もって決まっている選択肢以外での意見等を抽出する。